

(第9回通常総会) 12/3 運営スタッフ会議

2022年度「天空の里 いもい農場」のまとめと2023年度の進め方(案)

2023年2月4日

天空の里 いもい農場

1. 提案

2022年度の活動を振り返り、2023年度の進め方について報告します。

2. 趣旨

2022年度の天空の里 いもい農場(以下、いもい農場)は、9年目(通算20年目)の活動を無事、終えることができました。「長野市芋井地区の里山をフィールドに、野遊びや農作業体験を通じて、自然を身近に感じ、環境・農業・食べ物を大切に思う気持ちが育むこと」、「中山間地域の人々と都市部の人々との交流を図ること」、「中山間地域の森や農地の保全、食文化の継承・発展につながること」を目指し、国連が提唱するSDGsの目標に活動を照らし合わせ、芋井社会会館を舞台に実施しました。

今年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の対応を行い、安全と感じてもらえるような場の運営を進めました。また、いもいリビングらぼ・地域おこし協力隊など、地域とのつながりを深め、誰からも頼られるいもい農場を目指して、諸団体との協働を進めました。一年を通して、多くの人が芋井に集い、素晴らしい体験、思い出を参加者にお届けすることができました。

3. 活動概要

(1) 参加

① 登録人数 … 73人 内訳: 大人41人、子ども32人

※参考: 2021年度登録は67人、2020年度応募は76人、2019年度登録は60人

② 年間参加人数 … のべ665人

※参考: 2021年度のべ650人、2020年度のべ329人、2019年度のべ563人

(2) 参加費 … 大人3,000円、子ども2,000円、飛入参加1人1回500円

(3) 活動内容と参加家族数

回	日にち	曜日	内容	人数
1	4/23	土	開講式 ジャガイモ・長ネギの植え付け ※新型コロナウイルス感染拡大のため、運営スタッフのみで実施	30
2	5/7	土	野菜の苗の植え付け、リンゴの花摘み、里山散歩、山菜収穫、野草の天ぷら・野草の薄焼き	67
3	5/22	日	オリエンテーション、お米作りのお話、田植え	24
4	6/4	土	オリエンテーション、サツマイモ植え付け、リンゴの摘果、ハツカダイコンの収穫、山楽会プレゼント「竹取物語(竹を活用したクラフト)」	44
5	6/18	土	オリエンテーション、草取り、ジャガイモ・長ネギの土寄せ、ハツカダイコン・カブの収穫、田んぼの生きもの探し、おやきづくり	50
6	7/9	土	オリエンテーション、草取り、ダイコン・カブ等の収穫、ぬか漬け学習会	48
7	7/23-24	土・日	水のお話(広瀬川・田んぼ)、朝食づくり、七夕飾り、田んぼの草取り、蝶々探しのフィールドワーク	58

8	8/6	土	農道清掃、朝食、ジャガイモ収穫、新ジャガバター	33
9	8/20	土	ハクサイ植え付け、ダイコン種まき、草取り、長ネギの土寄せ、夏の縁日（和田さんちの梅で作った梅シロップ炭酸で乾杯）	39
10	9/10-11	土・日	オリエンテーション、稲刈り、文字絵リングシール貼り・袋掛け、秋野菜種まき、ダイコン間引き、野菜収穫	49
11	10/1	土	脱穀、林農園の稲刈り ※9/24 は、雨天中止	22
12	10/15	土	文字絵リング収穫（シナノスイート）、文字絵リングを地域おこし協力隊へ贈呈式、サツマイモ収穫、夏野菜最後の収穫と片付け、野菜の間引き、オリジナル文字絵リング作り（フジ）、新米おにぎり試食	38
13	11/5	土	ハクサイ・ダイコン・長ネギ・落花生の収穫、焼き芋・焼きジャガイモ・焼きネギ・焼きマッシュマロ・茹で落花生を畑で味わう活動	57
14	11/19	土	文字絵リング収穫、収穫祭	52
15	12/3	土	芋井社会会館大掃除、クラフト、すいとん作り、閉講式	54
合計				665

▼10回・12回・14回は、長野市芋井支所（長野市きらめき隊）中澤様・地域おこし協力隊 岸様の同席があり、ご挨拶を頂戴しました。また、活動と一緒に取り組みました。

▼12回・15回は、和田さんから活動への労いを頂戴しました。

（４）活動日外の活動

活動内容	開催日・参加した日	人数
●活動をサポートする内容		
事前準備（耕耘作業、作付準備、牛糞堆肥運搬、文字絵リング作り準備、住民自治協議会訪問、等）	2/24、3/13、4/2、4/10、4/20、5/6、5/18、5/20、6/1、7/30、8/7、8/14、8/27、8/28、9/3、10/8、10/16、11/6、11/27、12/14	93
特別企画「地域まるごとキャンパス交流会」「干し柿を作ろう！」「グリーンモンスタープロジェクト（葛根堀）」	7/17、10/30、11/26	25
機関会議（役員会、運営スタッフ会議）	4/2、4/7、9/25、12/3、12/6、12/11、1/22	52
●地域貢献活動		
広瀬地区一斉清掃	4/3、6/11、8/6、12/3	57
援農ボランティア（剪定枝の片づけ、リングわら敷、花摘み、摘果、棚田・リング草刈り、稲刈り、脱穀、リングの葉摘み・玉回し・収穫、等）	3/26、3/27、4/9、5/8、5/22、5/29、6/19、6/24、7/2、7/16、8/12、8/26、9/17、10/4、10/22、11/20、11/26	82
市道の草刈り、遊休農地・芋井社会会館草刈り等	2/27、3/6、6/5、7/2	8
●イベント参加等		
いもいりビングらぼ ※芋井地区住民自治協議会	3/19、6/12、7/23、9/3、10/8、10/29、12/10、1/28	17
シニア大学出合いのひろば等 ※長野県長寿社会開発センター長野支部	11/1、11/2、12/19	6
月例情報市場 ※ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク	4/20、7/20、9/21、10/19、1/19	5
移住者ウェルカムパーティ ※いもい移住者フェア実行委員会	7/21、9/15、11/3、12/10	4
地域まるごとキャンパス学生説明会・報告会 ※地域まるごとキャンパス実行委員会	5/14、5/16、1/14	3

総会 ※ながの協働ネット、長野市ボランティア連絡協議会、長野地域子どもカフェプラットフォーム	5/23、5/29、6/22	3
新潟県支援炊き出し打ち合わせ、ダイコン収穫 ※長野市災害ボランティア委員会	9/21、10/26	3
ユースリーチ文化祭 ※長野県 NPO センター	3/12	3
地域の草刈り、どうしてる？ ※市民活動サポートセンターまんまる	3/14	3
子育てフェスタ ※ながの子ども・子育てフェスティバル実行委員会	8/4、9/19	2
文学講演 ※芋井第2公民館	9/19	2
NPO ステップアップ講座「助成金に挑戦！」 ※市民協働サポートセンターまんまる	9/10	1
共食でつながるフェスタながの ※NPO ホットライン信州	11/12	1
令和4年度長野県青少年サポーター研修会 ※長野県将来世代応援県民会議	11/15	1
「信州の特色ある学び」寄付呼びかけ 記者発表会 ※長野県みらい基金	12/15	1
信州環境カレッジ交流会 ※信州環境カレッジ	1/18	1
合計		373

(5) マスメディア

回	日付	媒体	内容
1	3/18 土	週刊長野	2022 年度参加者募集
2	3/25 金	信濃毎日新聞	2022 年度参加者募集
3	3/29 火	長野市民新聞	2022 年度参加者募集
4	7/23 土	長野市民新聞	ぬか漬け学習会
5	8/1 月	長野市ボランティアセンター	ボランティアかわらばん 8 月号
6	8/20 土	長野市民新聞	NPO のリレーコラム
7	9/1～30	マルサン工芸	長野県庁前 SDGs 看板に於いて活動紹介
8	10/1 土	市民協働サポートセンターまんまる	機関誌まんまる 2022 秋号
9	10/4 火	長野市民新聞	NPO のひろば
10	10/22 土	長野市民新聞	文字絵リンゴ収穫

(6) 栽培した種類と品目数 …… 下記の 25 品目 (2021 年度 25 品目)

ジャガイモ (キタアカリ)、ジャガイモ (男爵)、長ナス、丸ナス、ピーマン、シシトウ、ミニトマト、長ネギ、ズッキーニ、かぼちゃ、落花生、サツマイモ、ダイコン (夏)、ダイコン (秋)、ハツカダイコン、聖護院ダイコン、ハクサイ、ホウレンソウ、コマツナ、カブ (夏)、カブ (秋)、チンゲンサイ、リンゴ (シナノスイート)、リンゴ (フジ)、あきたこまち

3. 2022 年度のまとめと 2023 年度の進め方

(1) 2022 年度のまとめ

● 総括

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の対応を行い、安全な場の運営を行いました。ボランティア団体として、「できる人が、できる時に、できること」で食農体験活動を実施。また、援農ボランティアや芋井地区で開催されたイベントや芋井地区のビジョンやアクションを考える会議・イベントに参画し、地域とのつながりを深めました。

① 楽しい食農活動を実施します。

- ・元は学び舎であった芋井社会会館の場を活かした運営となるよう、活動上の役割「畑の教室」「野遊び教室」「料理の教室」「子どもの教室」を設け、各教室に運営スタッフが担任・副担任を担いながら運営を行いました。担任・副担任で相談しながら運営することができるようになり、事務局一極集中の運営が改善されました。参加者の立場では、「子どもの成長を感じることができた」、「家庭菜園の参考になった」等、好評の場となりました。また、運営スタッフと参加者とのコミュニケーションが密になる効果もありました。
- ・野菜の収穫は、収穫適期に合わせる事が難しく、肥大化しすぎたり、未熟であったりと、野菜を育てる難しさを学びました。2週に一度の管理のため仕方がないことではありますが、おいしい野菜作りは、課題です。
- ・地域まるごとキャンパスの登録を行い、赤い羽根共同募金の助成金を活用して、限界集落で高大生と取り組む「食農体験&子どもの居場所作り『バスに乗ってこねえかい!』」を実施。のべ30人の高大生がバス（一部企画では運営スタッフの送迎を実施）を活用していもい農場に集いました。活動の中で、高大生と参加者との交流が充実するとともに、参加した高大生は、芋井地区の地域課題を感じる機会になりました。参加者からも、お姉さんとの交流を楽しみにしていた様子も見られ、5者（高大生・一般参加者・いもい農場・地域・バス会社）にWIN-WINとなりました。一方で、高大生の率直な感想などを発信が少なかったことに課題がありました。
- ・参加者の声を主役に、どのような活動に参加したのかを紹介するコーナー「活動レビュー 参加いただいたみなさんとともに!」を15回、BLOGに掲載しました。いもい農場の活動の可視化を参加者に担っていただき、活動を通じて子どもの成長や変化、それぞれの暮らしが豊かになる気付きの発信がありました。活動通信の発信にも力を入れて取り組み、BLOGは、1年間で10万ページビューを超える閲覧がありました。
- ・いもい農場の活動の新たな活動可視化ツールとして、Instagramを開始しました。Instagramは、運営スタッフ内にSNS班を設け、写真の素材集め・編集・公開を行い、楽しい活動の情報発信を行いました。

② 活動を社会貢献につなげます。

- ・援農ボランティア・地域の清掃活動について、運営スタッフ内の呼びかけだったものを参加者に拡大し、取り組みました。地域の農道清掃活動では、朝5:00集合にも関わらず、大勢の参加者が集い、地域環境美化活動の一翼を担いました。また、一部市道の清掃活動に範囲を広げ、対応を行いました。援農ボランティアでは、和田農園・林農園のリンゴ栽培・稲作のお手伝いに取り組みました。
- ・引き続き、芋井地区住民自治協議会、長野市芋井支所のつながりを軸に、諸団体とコミュニケーションを深めました。長野県NPOセンターが協力をする芋井地区のビジョンやアクションを考える「いもいリビングらぼ」では、草刈りバスターズ養成講座への講師派遣・おもてなし隊の対応の他、会議にも継続して参加を行いました。地域おこし協力隊・地域きらめき隊とは、文字絵リング作りを協働で取り組みました。完成した文字絵リングは、観光振興のための活用で、地域おこし協力隊に寄付を行い、森の駅、移住者フェアの景品として活用されました。
- ・栽培した野菜の一部は、長野市災害ボランティア委員会、精神保健ボランティア「ホワイトナッツ」に提供しました。

- ・ ながの協働ネットの会員になり、地域まるごとキャンパスの情報、団体の活動に活かす研修参加を進めました。
- ・ 信州子どもカフェ長野地域プラットフォームに参画し、信州子どもカフェの情報を活かした活動を推進しました。食料提供を受ける他、長野市子育てフェスティバルへも出展し、活動の周知を行いました。
- ・ 長野県長寿社会開発センター長野支部が主催する「地域づくり出会いのひろば」へ出展し、シニア世代の参加を呼びかける広報活動を実施し、のべ4人のシニア大学生の参加がありました。
- ・ ながのボランティア活動支援ネットワーク主催の情報市場に継続参加をして、活動の様子を発信しました。この場で子どもたちへ三味線を教える兼竹会から、炊飯器とお米の寄付がありました。
- ・ 寄付を呼びかける「アマゾンほしいものリスト」に登録を行い、匿名の方から刈払い機1台の寄付がありました。刈払い機が複数体制になり作業効率が向上しました。

(2) 2023年度の進め方

● 基本的な考え方

10周年の節目の活動となる2023年。ボランティア団体としてできる事で、地域とのつながりを深め、頼りにされる存在を目指します。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の対応を行い、安全な場の運営を行います。

① 楽しい食農活動を実施します。

- ・ 参加が楽しくなる視点をもって、教室型の運営の充実を図ります。
- ・ 運営スタッフのできることを活かして、多世代交流の機能の充実を図ります。
- ・ 参加することで「参加者それぞれの暮らしが豊かになるような気付きの場」となることを目指します。
- ・ 参加者それぞれ「参加して良かった」「楽しかった」と思ってもらえるような場を作ります。
- ・ 地域がにぎやかになることを目指して、地域まるごとキャンパスへ登録し、高大生を巻き込んだ楽しい活動の組み立てを行います。
- ・ 諸団体との連携で、企画が充実することを目指します。
- ・ 10周年記念イベントの検討・準備・具体化を進めます。

② 活動を社会貢献につなげます。

- ・ 対応可能な範囲となりますが、私たちの活動は、地域の応援や理解があってからこそ成り立つものと捉え、援農ボランティアを充実させます。
- ・ 芋井地区住民自治協議会、長野市芋井支所のつながりを軸に、諸団体とコミュニケーションを深め、活動の広がりや充実につなげます。
- ・ 栽培した野菜の一部は、社会貢献の位置づけで諸団体に提供します。
- ・ 様々な媒体、さまざまな場で、活動の情報発信を強めます。

4. 会計報告

(1) 一般会計（期間：2022年2月1日～2023年1月31日）

単位：円

収入		支出	
前年度繰り越し	122,687	農機具・肥料等	60,837
正・賛助会員費	76,000	種苗等	39,105
参加費（飛入含む）	147,000	通信費等	8,073
助成金 ※1	91,000	食料・消耗品等	113,370
寄付金	7,872	地元への支払い等	101,424
赤い羽根共同募金配分金	48,576	赤い羽根 バス代補助	48,576
お米栽培協力金	33,500	10周年企画積立	100,000
その他 ※2	22,400	次年度繰り越し	77,650
収入合計	549,035	支出合計	549,035

※1 助成金は、長野県社会福祉協議会（信州子どもカフェ運営支援助成）、コープながの（コープサークル活動補助）、㈱ニッチ子ども食堂寄付金。

※2 その他は、地域作業当代、他団体への野菜提供代等。

(2) この間の一般会計の推移

収入の年度変遷		支出の項目別変遷									
年度	総収入(A)	項目	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
2014	59,470	農機具・肥料等	7,559	19,512	10,633	22,697	14,080	35,014	28,137	35,478	60,837
2015	90,061	種苗等	6,884	14,665	15,574	15,559	15,976	16,243	15,689	16,883	39,105
2016	118,321	通信費	1,743	2,513	7,695	6,618	9,516	13,417	9,485	8,966	8,073
2017	157,326	食料・消耗品等	8,269	30,244	33,111	37,218	48,283	60,804	41,844	58,222	113,370
2018	186,552	地元への支払い等	18,647	17,806	41,132	45,074	63,195	68,667	106,281	133,886	101,424
2019	232,160	赤い羽根									48,576
2020	298,435	10周年企画積立									100,000
2021	376,122	支出合計(B)	43,102	84,740	108,145	127,166	151,050	194,145	201,436	253,435	471,385
2022	549,035	次年度繰越(A-B)	16,368	5,321	10,176	30,160	35,502	38,015	96,999	122,687	77,650

5. 添付資料

(1) 2022年度参加者レビュー全文（総会資料別冊 P5～7）

(2) 一般会計報告詳細版（総会資料別冊 P8～17）

以上